

様式 D-2-2

令和2年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）交付申請書

令和3年〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

		交付内定年度 (自動表示)	機関番号	1	2	3	4	5
所属 研究 機関	所在地	〒〇〇〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇〇 3-1						
	名称	〇〇大学						
	機関の長	学長・〇〇 〇〇						
	経費管理 担当者	〇〇課・〇〇係長・〇〇 〇〇						
研究 代表者	部局	〇〇研究科						
	職	教授						
	研究者番号	1 2 3 4 5 6 7 8						
	氏名	〇〇 〇〇						

次のとおり研究を実施したいので、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）の交付を申請します。なお、交付された助成金は、交付条件に従い適正に使用します。

1. 研究種目名 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（A）） 2. 課題番号 2 0 K K 1 2 3 4

3. 研究課題名 〇〇の××に関する総合的研究

4. 補助事業期間 令和3年度～令5年度

補助事業期間の開始年度は交付申請年度（交付内定年度又はその翌年度）、終了年度は開始年度から起算して3年度以内とすること。

5. 助成金額（交付予定額） (円)

直接経費					間接経費	合計
物品費	旅費	人件費・謝金	その他	計		
2,500,000	4,700,000	3,600,000	1,200,000	12,000,000	3,600,000	15,600,000

6. 渡航先の概要

渡航先国名	渡航先海外機関名	主な海外共同研究者所属部局・職・氏名	渡航期間
〇〇〇	□□□研究所	△△△センター・研究員・*****	2021.5.1～2021.8.31 2021.12.10～2022.4.10
●●●	■●●大学	▲▲▲研究科・教授・※※※※※※	2021.9.1～2021.11.30
合計			XXX日

【研究代表者・所属研究機関控】

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

1 版

7. 研究の概要

Grid area for research overview with a callout box.

・基課題の研究目的のみではなく、国際共同研究強化（A）の研究課題（基課題を格段に発展させる研究課題）の研究目的を入力すること。

8. 研究の目的

Grid area for research objectives with a callout box.

9. 補助事業期間中の研究実施計画

Grid area for research implementation plan with a callout box.

・渡航先での研究計画のほか、補助事業期間内における渡航前、帰国後の国内での研究計画がわかるように入力すること。
・研究実施計画における海外共同研究者の役割が分かるように入力し、海外共同研究者との関係を明確にすること。
（ただし、海外共同研究者から指導・助言を仰ぐといった、留学等単なる海外派遣の内容とならないように留意すること。）
・先に提出した研究計画調書から、主たる渡航先の外国機関を変更する場合には、変更理由及び研究の目的に変更が無いことについて具体的に入力すること。

10. キーワード

Grid area for keywords.

11. 主要な物品の内訳（1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの）

Table with 6 columns: Item Name, Specification, Quantity, Unit Price, Amount, and Estimated Delivery Date.